

当ファンドの仕組みは次の通りです。

第8期

## 運用報告書(全体版)

# アジアハイ・イールド 債券オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【2019年11月18日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「アジアハイ・イールド債券オープン(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、2019年11月18日に第8期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月18日から2021年11月17日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に実質的に投資し、金利収入を獲得しつつ、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。 ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	為替ヘッジなし	・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用) ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ・マネー・リクイディティ・マザーファンド
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年11月17日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 原則として収益分配後の基準価額が当初元本(1口当たり1円)程度となることを目処に分配金額を決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

【為替ヘッジあり】

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
4期(2015年11月17日)	10,004	40	0.2	226.762	4.2	0.3	92.8	181
5期(2016年11月17日)	10,039	350	3.8	251.418	10.9	0.2	92.1	173
6期(2017年11月17日)	10,012	350	3.2	267.143	6.3	0.3	92.9	149
7期(2018年11月19日)	9,302	0	△7.1	255.881	△4.2	0.4	94.2	110
8期(2019年11月18日)	10,004	10	7.7	289.983	13.3	0.4	97.7	79

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]は、当該日前営業日の現地終値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て]		債組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年11月19日	円 9,302	% -	ポイント 255.881	% -	% 0.4	% 94.2
11月末	9,276	△0.3	256.149	0.1	0.4	94.5
12月末	9,338	0.4	259.378	1.4	0.3	94.0
2019年1月末	9,551	2.7	266.929	4.3	0.5	95.8
2月末	9,669	3.9	271.735	6.2	0.5	97.2
3月末	9,908	6.5	280.141	9.5	0.5	98.7
4月末	9,910	6.5	281.007	9.8	0.5	95.2
5月末	9,870	6.1	281.667	10.1	0.5	94.8
6月末	9,990	7.4	285.373	11.5	0.6	97.0
7月末	9,988	7.4	287.074	12.2	0.6	96.6
8月末	9,878	6.2	284.353	11.1	0.6	97.4
9月末	9,912	6.6	285.602	11.6	0.6	98.1
10月末	9,990	7.4	289.276	13.1	0.4	98.1
(期末) 2019年11月18日	10,014	7.7	289.983	13.3	0.4	97.7

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

【為替ヘッジなし】

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
4期(2015年11月17日)	10,032	650	6.3	27,943.84	10.3	1.2	90.8	1,174
5期(2016年11月17日)	9,345	0	△6.8	27,339.23	△2.2	1.3	94.8	806
6期(2017年11月17日)	10,007	150	8.7	30,179.10	10.4	1.9	92.4	805
7期(2018年11月19日)	9,493	0	△5.1	28,845.44	△4.4	2.6	94.7	599
8期(2019年11月18日)	10,007	150	7.0	31,555.92	9.4	0.6	97.1	435

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後]		債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年11月19日	円 9,493	% —	ポイント 28,845.44	% —	% 2.6	% 94.7
11月末	9,531	0.4	29,065.25	0.8	2.6	96.2
12月末	9,420	△0.8	28,791.00	△0.2	1.8	95.1
2019年1月末	9,496	0.0	29,084.55	0.8	2.9	96.2
2月末	9,799	3.2	30,127.25	4.4	2.9	96.2
3月末	10,072	6.1	31,092.87	7.8	1.1	96.8
4月末	10,173	7.2	31,430.59	9.0	1.2	96.0
5月末	9,940	4.7	30,803.09	6.8	1.2	97.3
6月末	9,942	4.7	30,760.32	6.6	1.3	97.6
7月末	10,045	5.8	31,187.76	8.1	1.3	96.7
8月末	9,759	2.8	30,272.25	4.9	1.3	97.1
9月末	9,943	4.7	30,822.18	6.9	0.9	97.8
10月末	10,124	6.6	31,496.32	9.2	0.6	97.7
(期末) 2019年11月18日	10,157	7.0	31,555.92	9.4	0.6	97.1

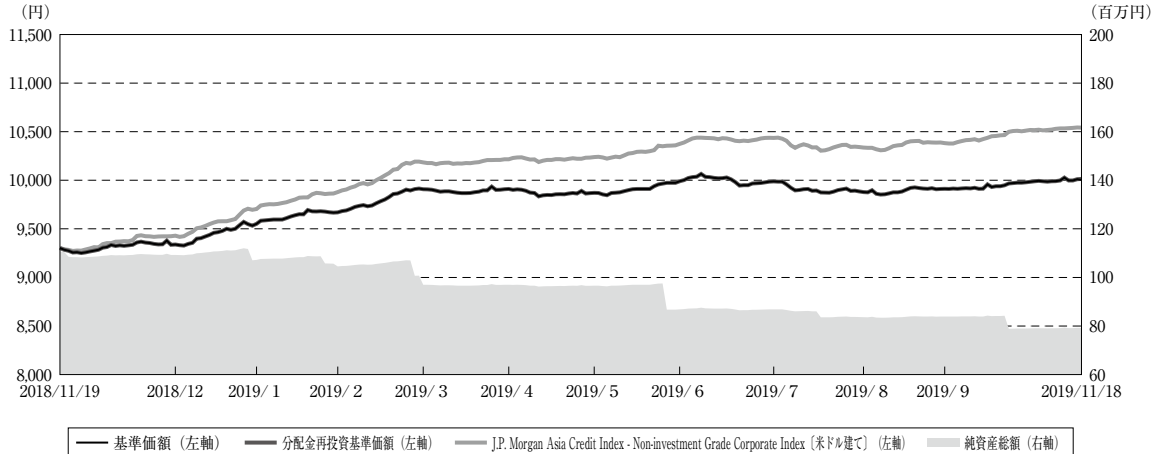
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2018年11月20日～2019年11月18日）

#### 【為替ヘッジあり】



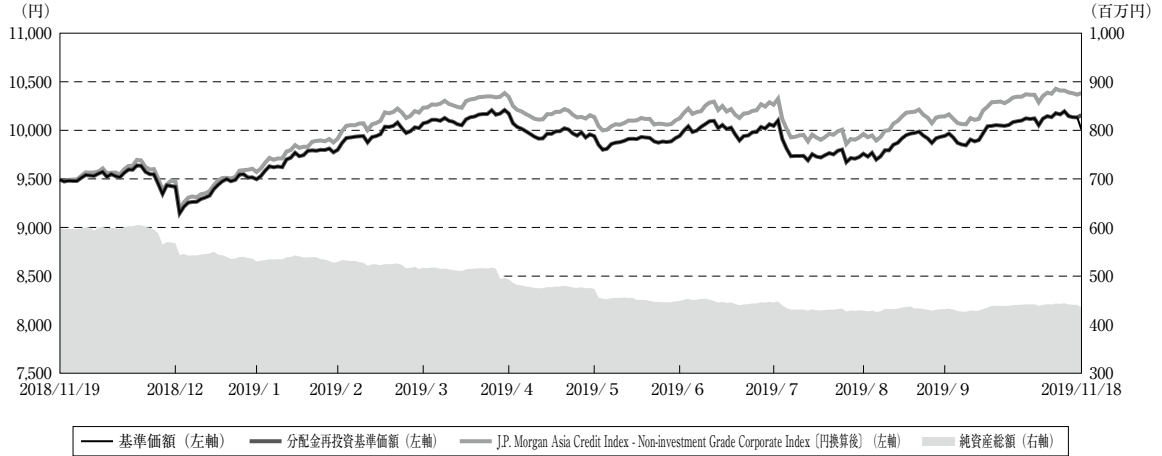
期 首： 9,302円

期 末： 10,004円（既払分配金（税引前）：10円）

騰落率： 7.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2018年11月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



期首：9,493円

期末：10,007円（既払分配金（税引前）：150円）

騰落率：7.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2018年11月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

＜アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）＞

当ファンドの主要投資対象である「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・投資対象としたマザーファンドにおいて、一部の保有債券の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- ・特にありません。

＜アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）＞

当ファンドの主要投資対象である「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・投資対象とした「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）」（マザーファンド）において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・投資対象としたマザーファンドにおいて、一部の保有債券の利回りが低下し、債券価格が上昇したことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- ・為替市場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

**投資環境**

（2018年11月20日～2019年11月18日）

当期のアジア・ハイ・イールド債券市場は、上昇しました。期初から2019年7月にかけては、中国政府の景気刺激策に対する期待や米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げに慎重な姿勢を見せたことなどを背景に、概ね上昇基調で推移しました。その後、トランプ米大統領が対中制裁関税第4弾の発動を表明し、中国が米国に対し報復措置を発表するなど、米中貿易摩擦が深刻化したことから、軟調に推移する場面もありましたが、9月以降は米中通商協議に進展が見られたことや、FRBやアジア各国で利下げが発表されたことが支援材料となり、堅調に推移しました。

為替市場は、米ドルが対円で下落しました。期初から2019年8月にかけては、米国の長期金利が低下したことや米中貿易摩擦への懸念などを受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、米ドルが対円で下落しました。しかしその後は、米中通商協議の進展期待や英国の合意なき欧州連合（EU）離脱に対する警戒感が和らいだことなどを受けて、米ドルは対円で持ち直す展開となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2018年11月20日～2019年11月18日）

**<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）>**

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に維持するとともに、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の組入れを継続しました。

## ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

## ○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象として運用を行いました。

**<アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）>**

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に維持するとともに、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の組入れを継続しました。

## ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

## ○マネー・リクイディティ・マザーファンド

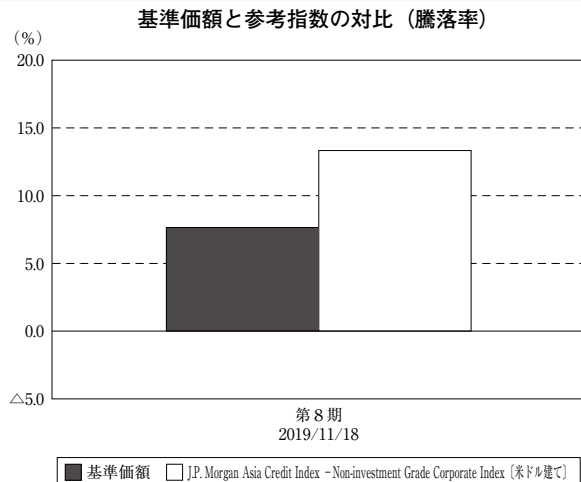
前述をご参照ください。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年11月20日～2019年11月18日）

### 【為替ヘッジあり】

当期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔米ドル建て〕」を5.6%下回りました。

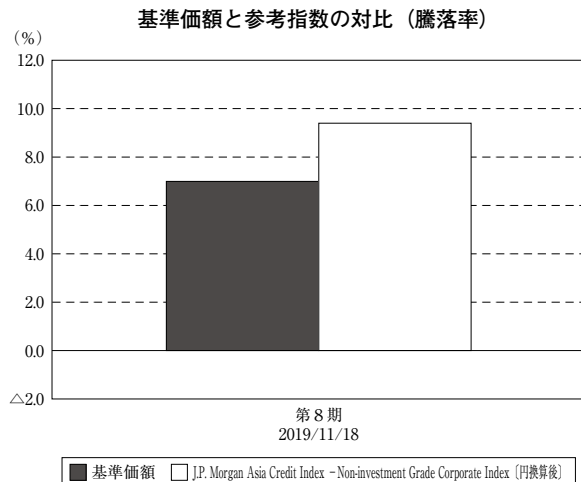


(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔米ドル建て〕です。

### 【為替ヘッジなし】

当期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数である「J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔円換算後〕」を2.4%下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index〔円換算後〕です。



## 分配金

（2018年11月20日～2019年11月18日）

## &lt;アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）&gt;

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期は1万口当たり10円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第8期
	2018年11月20日～ 2019年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.100%
当期の収益	10
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,386

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt;アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）&gt;

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期は1万口当たり150円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第8期
	2018年11月20日～ 2019年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	150 1.477%
当期の収益	150
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,650

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ＜アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジあり）＞

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

#### ○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象として運用を行います。また、資産の組入れにあたっては、取得時において信用格付業者等から第2位（A-2格相当）以上の格付を得ており、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。

### ＜アジア ハイ・イールド債券オープン（為替ヘッジなし）＞

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」と「マネー・リクイディティ・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」につきましては、組入比率を高位に保つことを基本とします。

#### ○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

#### ○マネー・リクイディティ・マザーファンド

前述をご参照ください。

【為替ヘッジあり】

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年11月20日～2019年11月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	110 ( 43) ( 64) ( 3)	1.130 (0.439) (0.658) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 1) ( 0)	0.013 (0.013) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	111	1.143	
期中の平均基準価額は、9,773円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

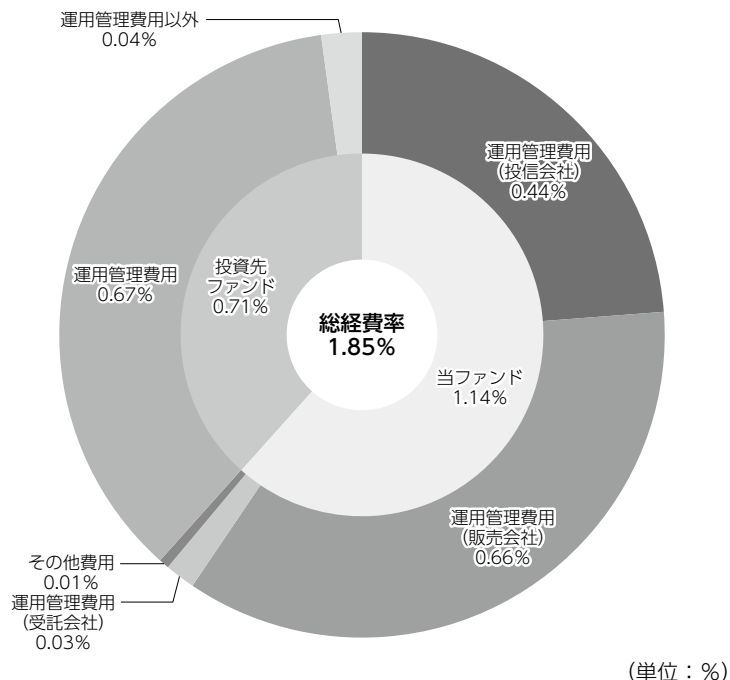
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (①+②+③)	1.85
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2018年11月20日～2019年11月18日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

### 投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	1,233,655	1,000	37,216,915	30,600

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未满是切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2018年11月20日～2019年11月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

（2019年11月18日現在）

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期 首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）		131,337,387	95,354,127	77,360	97.7
合 計		131,337,387	95,354,127	77,360	97.7

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注）口数・評価額の単位未满是切捨て。

### 親投資信託残高

銘	柄	期 首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	額
マネー・リクイディティ・マザーファンド		502	502	503	503

（注）口数・評価額の単位未满是切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2019年11月18日現在）

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
投 資 信 託 受 益 証 券	77,360		97.0
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ェ ン ド	503		0.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,882		2.4
投 資 信 託 財 産 総 額	79,745		100.0

（注）評価額の単位未满是切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年11月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	79,745,462
コール・ローン等	1,881,516
投資信託受益証券(評価額)	77,360,803
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	503,143
(B) 負債	569,897
未払収益分配金	79,143
未払信託報酬	485,169
未払利息	3
その他未払費用	5,582
(C) 純資産総額(A－B)	79,175,565
元本	79,143,540
次期繰越損益金	32,025
(D) 受益権総口数	79,143,540口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,004円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0004円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は119,007,936円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は39,864,396円です。

○損益の状況（2018年11月20日～2019年11月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,143,086
受取配当金	5,144,821
受取利息	4
支払利息	△ 1,739
(B) 有価証券売買損益	1,529,130
売買益	2,526,057
売買損	△ 996,927
(C) 信託報酬等	△ 1,076,821
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,595,395
(E) 前期繰越損益金	△ 8,315,112
(F) 追加信託差損益金	2,830,885
(配当等相当額)	( 6,909,406)
(売買損益相当額)	(△ 4,078,521)
(G) 計(D+E+F)	111,168
(H) 収益分配金	△ 79,143
次期繰越損益金(G+H)	32,025
追加信託差損益金	2,830,885
(配当等相当額)	( 6,909,406)
(売買損益相当額)	(△ 4,078,521)
分配準備積立金	11,976,828
繰越損益金	△14,775,688

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第8期
(a) 配当等収益(費用控除後)	4,316,558円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	6,909,406円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	7,739,413円
分配対象収益(a+b+c+d)	18,965,377円
分配対象収益(1万口当たり)	2,396円
分配金額	79,143円
分配金額(1万口当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	10円
支払開始日	2019年11月22日(金)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

【為替ヘッジなし】

○ 1 万口当たりの費用明細

（2018年11月20日～2019年11月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	111 ( 43) ( 65) ( 3)	1.130 (0.439) (0.658) (0.033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 ( 1) ( 0)	0.013 (0.013) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	112	1.143	
期中の平均基準価額は、9,853円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

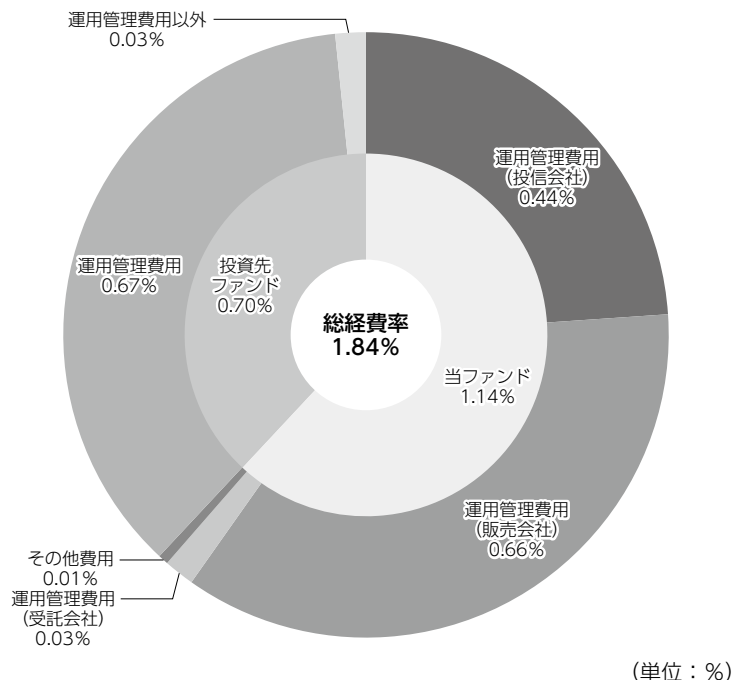
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率 (①+②+③)	1.84
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2018年11月20日～2019年11月18日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内 アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	2,482,006	3,000 千円	128,891,888	156,500 千円

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 —	千円 —	11,976	12,000 千円

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2018年11月20日～2019年11月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当期		期末
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)		474, 149, 419	347, 739, 537	422, 607	97.1
合	計	474, 149, 419	347, 739, 537	422, 607	97.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当期		期末
		口数	口数	評価額	千円
マネー・リクイディティ・マザーファンド		千口 15, 957	千口 3, 980		千円 3, 987

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項	目	当期		期末
		評価額	比率	比率
投資信託受益証券		千円 422, 607		% 95.1
マネー・リクイディティ・マザーファンド		3, 987		0.9
コール・ローン等、その他		17, 693		4.0
投資信託財産総額		444, 287		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年11月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	444,287,093
コール・ローン等	17,691,871
投資信託受益証券(評価額)	422,607,859
マネー・リクイディティ・マザーファンド(評価額)	3,987,363
(B) 負債	9,032,669
未払収益分配金	6,524,459
未払信託報酬	2,479,327
未払利息	29
その他未払費用	28,854
(C) 純資産総額(A－B)	435,254,424
元本	434,963,949
次期繰越損益金	290,475
(D) 受益権総口数	434,963,949口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,007円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0007円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は631,622,099円、期中追加設定元本額は10,390,432円、期中一部解約元本額は207,048,582円です。

○損益の状況（2018年11月20日～2019年11月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	28,001,624
受取配当金	28,006,895
受取利息	25
支払利息	△ 5,296
(B) 有価証券売買損益	5,929,331
売買益	9,765,651
売買損	△ 3,836,320
(C) 信託報酬等	△ 5,518,173
(D) 当期損益金(A+B+C)	28,412,782
(E) 前期繰越損益金	△ 18,629,416
(F) 追加信託差損益金	△ 2,968,432
(配当等相当額)	( 9,992,451)
(売買損益相当額)	(△12,960,883)
(G) 計(D+E+F)	6,814,934
(H) 収益分配金	△ 6,524,459
次期繰越損益金(G+H)	290,475
追加信託差損益金	△ 2,968,432
(配当等相当額)	( 9,992,542)
(売買損益相当額)	(△12,960,974)
分配準備積立金	61,809,631
繰越損益金	△ 58,550,724

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第8期
(a) 配当等収益(費用控除後)	23,514,387円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	9,992,542円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	44,819,703円
分配対象収益(a+b+c+d)	78,326,632円
分配対象収益(1万口当たり)	1,800円
分配金額	6,524,459円
分配金額(1万口当たり)	150円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	150円
支払開始日	2019年11月22日(金)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年11月18日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（144,034千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当			期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
特 殊 債 券 （除 く 金 融 債）	90,000 (90,000)	90,104 (90,104)	62.5 (62.5)	— (—)	— (—)	— (—)	62.5 (62.5)	
合 計	90,000 (90,000)	90,104 (90,104)	62.5 (62.5)	— (—)	— (—)	— (—)	62.5 (62.5)	

(注) ( ) 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当		期		末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円		
第30回政府保証日本政策金融公庫債券		0.194	40,000	40,037		2020/3/18
第95回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,066		2019/12/27
合 計			90,000	90,104		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

# アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第90期(決算日:2019年6月10日) 第93期(決算日:2019年9月9日)  
第91期(決算日:2019年7月9日) 第94期(決算日:2019年10月9日)  
第92期(決算日:2019年8月9日) 第95期(決算日:2019年11月11日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は、去る11月11日に第95期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1アジア諸国とは、運用要件がそれに該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。外貨建資産については、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクを抑えます。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注)当報告書における比率は、表示相米四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorganasset.co.jp/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率			
	円	円	円	%	%	%	百万円
66期(2017年6月9日)	9,158	46		0.3	94.8	—	2,091
67期(2017年7月10日)	9,074	45		△0.4	95.6	—	2,150
68期(2017年8月9日)	9,090	40		0.6	89.0	—	2,217
69期(2017年9月11日)	9,100	47		0.6	93.0	—	2,180
70期(2017年10月10日)	9,107	42		0.5	102.0	—	2,170
71期(2017年11月9日)	9,091	42		0.3	97.0	—	2,153
72期(2017年12月11日)	9,000	43		△0.5	95.8	—	2,050
73期(2018年1月9日)	8,978	41		0.2	96.2	—	1,994
74期(2018年2月9日)	8,868	40		△0.8	96.4	—	1,863
75期(2018年3月9日)	8,790	41		△0.4	91.3	—	1,822
76期(2018年4月9日)	8,694	46		△0.6	97.4	—	1,800
77期(2018年5月9日)	8,444	46		△2.3	98.2	—	1,672
78期(2018年6月11日)	8,358	48		△0.5	94.9	—	1,631
79期(2018年7月9日)	8,048	43		△3.2	95.5	—	1,412
80期(2018年8月9日)	8,250	47		3.1	95.8	—	1,448
81期(2018年9月10日)	8,172	49		△0.4	94.4	—	1,394
82期(2018年10月9日)	8,198	44		0.9	97.6	—	1,359
83期(2018年11月9日)	7,968	47		△2.2	95.1	—	1,277
84期(2018年12月10日)	7,924	48		0.1	93.9	—	1,213
85期(2019年1月9日)	7,913	43		0.4	92.9	—	1,167
86期(2019年2月12日)	8,101	49		3.0	93.2	—	1,192
87期(2019年3月11日)	8,172	42		1.4	97.7	—	1,156
88期(2019年4月9日)	8,261	44		1.6	95.1	—	1,137
89期(2019年5月9日)	8,246	44		0.4	91.0	—	1,115
90期(2019年6月10日)	8,185	46		△0.2	91.7	—	1,097
91期(2019年7月9日)	8,284	42		1.7	95.5	—	1,123
92期(2019年8月9日)	8,139	47		△1.2	89.9	—	1,133
93期(2019年9月9日)	8,065	45		△0.4	93.1	—	1,179
94期(2019年10月9日)	8,077	44		0.7	94.7	—	1,182
95期(2019年11月11日)	8,097	49		0.9	96.3	—	1,171

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第90期	(期 首) 2019年5月9日	円 8,246	% —		% 91.0	% —
	5月末	8,223	△0.3		90.5	—
	(期 末) 2019年6月10日	8,231	△0.2		91.7	—
第91期	(期 首) 2019年6月10日	8,185	—		91.7	—
	6月末	8,287	1.2		94.2	—
	(期 末) 2019年7月9日	8,326	1.7		95.5	—
第92期	(期 首) 2019年7月9日	8,284	—		95.5	—
	7月末	8,252	△0.4		92.8	—
	(期 末) 2019年8月9日	8,186	△1.2		89.9	—
第93期	(期 首) 2019年8月9日	8,139	—		89.9	—
	8月末	8,119	△0.2		92.5	—
	(期 末) 2019年9月9日	8,110	△0.4		93.1	—
第94期	(期 首) 2019年9月9日	8,065	—		93.1	—
	9月末	8,110	0.6		95.0	—
	(期 末) 2019年10月9日	8,121	0.7		94.7	—
第95期	(期 首) 2019年10月9日	8,077	—		94.7	—
	10月末	8,137	0.7		96.3	—
	(期 末) 2019年11月11日	8,146	0.9		96.3	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



## 投資環境

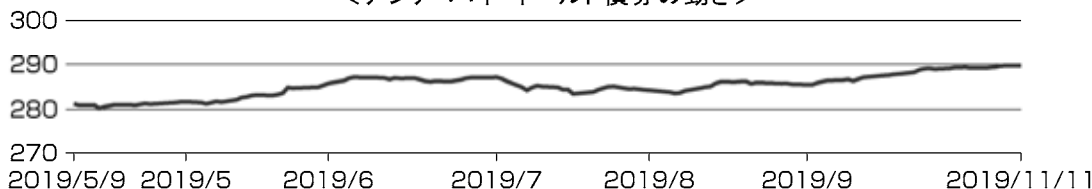
### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆ 作成期首から7月にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)が金融緩和に前向きな姿勢を見せたことやECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が追加緩和の可能性に言及したことなどを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね上昇基調で推移しました。また、米国が対中追加関税を先送りし、貿易協議の再開で合意したほか、中国の通信機器最大手への制裁を一部緩和したことなども支援材料となりました。
- ◆ 8月は、トランプ米政権が中国に対する制裁関税の第4弾の発動を表明し、中国が米国に対し報復措置を発表するなど米中貿易摩擦が深刻化したことを受けて軟調に推移しました。
- ◆ 9月以降は、米中貿易協議に進展が見られたことや、FRBが利下げを決定したことなどが支援材料となり、アジア・ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。
- ◆ 当作成期中は、景気下支えのため、中国やインドネシア、フィリピン、インド、韓国など多くの国で利下げが発表されました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

＜アジア・ハイ・イールド債券の動き＞



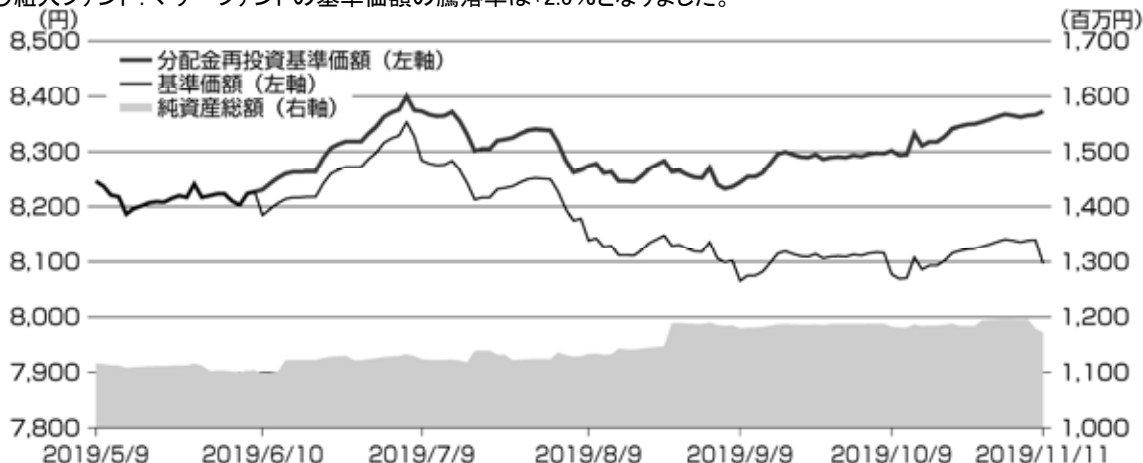
(出所)ブルームバーグ

・J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

- 当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+1.5%となりました。
- 組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+2.5%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同し)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同し)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、保有債券の価格上昇や保有債券からの利息収入などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

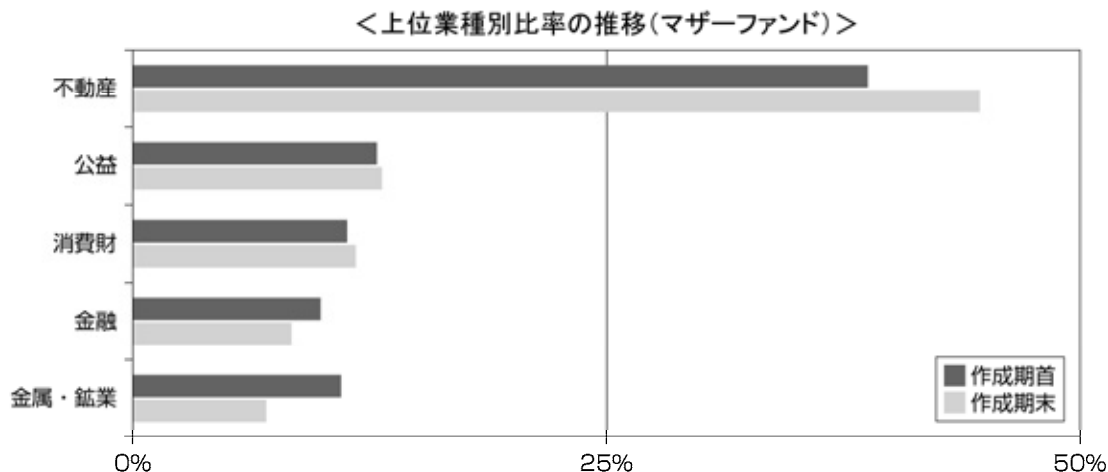
◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

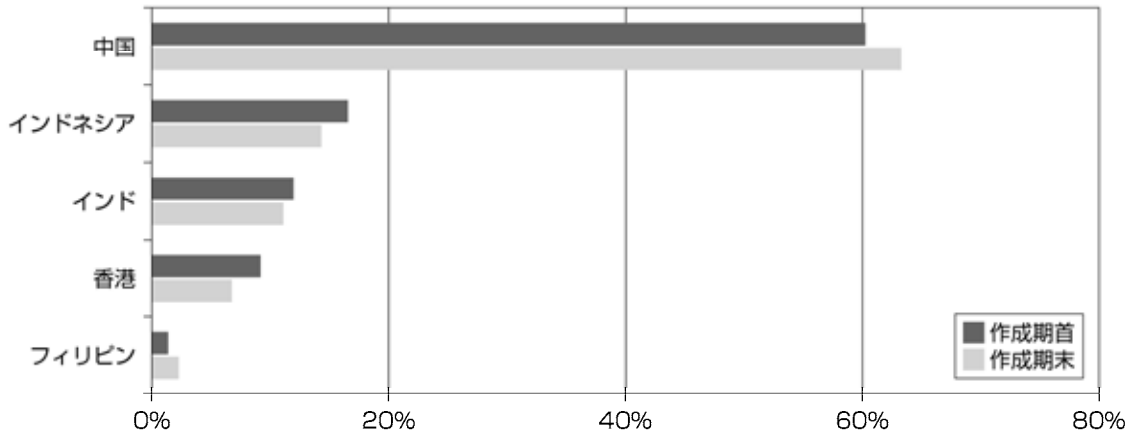
様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。



・組入価証券を100%として計算しています。

・業種別比率はJP. Morgan Asia Credit Index (JACI) の分類に基づいていますが、当社の判断により分類したものが一部含まれます。

＜上位国別比率の推移(マザーファンド)＞



・組入有価証券を100%として計算しています。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で273円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆今後の世界経済の見通しについては、緩やかな成長が続くと予想しており、当面は景気後退に陥る可能性は低いと見ている一方、経済指標が大きく改善する見込みは低いと考えます。
- ◆今後、市場環境が好転すれば年末にかけて米国国債とアジア・ハイ・イールド債との利回り格差は縮小する可能性があると考えます。また、アジア・ハイ・イールド債の発行体のファンダメンタルズ(基礎的条件)については大きな変化はないと見えています。
- ◆2019年前半に債務水準は若干上昇しましたが、企業収益は2019年を通して増加傾向を維持できると予想しているほか、2019年のデフォルト(債務不履行)率は2018年と同水準になると見えています。
- ◆バリュエーション(価格評価)については適正水準に近いと判断しており、価格が下落した場合には投資の機会として捉えていきたいと考えています。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2019年5月10日～2019年11月11日)

項 目	第90期～第95期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 29	% 0.358	(a) 信託報酬 = [当作成期中の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(27)	(0.335)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 0 )	(0.006)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.017)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.019	(b) その他費用 = $\frac{[当作成期中のその他費用]}{[当作成期中の平均受益権口数]}$
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.008)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	31	0.377	
当作成期中の平均基準価額は、8,188円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第90期～第95期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 79,008	千円 180,921	千口 49,833	千円 115,677

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年11月11日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第89期末		第95期末	
		口	数	口	数
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券			千口	千口	千円
			477,770	506,945	1,207,950

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2019年11月11日現在)

項	目	第95期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		1,207,950	98.2
コール・ローン等、その他		22,020	1.8
投資信託財産総額		1,229,970	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(14,394,663千円)の投資信託財産総額(14,417,938千円)に対する比率は99.8%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.16円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2019年6月10日現在	2019年7月9日現在	2019年8月9日現在	2019年9月9日現在	2019年10月9日現在	2019年11月11日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>4,428,469,182</b>	<b>2,264,459,269</b>	<b>2,309,081,403</b>	<b>4,879,587,594</b>	<b>2,397,291,240</b>	<b>2,489,167,744</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	1,086,408,420	1,136,173,681	1,121,961,640	1,196,855,831	1,192,401,994	1,207,950,769
未収入金	3,342,060,762	1,128,285,588	1,187,119,763	3,682,731,763	1,204,889,246	1,281,216,975
<b>(B) 負債</b>	<b>3,330,760,230</b>	<b>1,141,179,123</b>	<b>1,175,812,780</b>	<b>3,700,348,558</b>	<b>1,215,275,021</b>	<b>1,317,195,455</b>
未払金	3,323,899,720	1,134,850,024	1,168,588,663	3,693,068,867	1,208,139,495	1,291,326,108
未払収益分配金	6,169,505	5,694,771	6,543,905	6,579,831	6,439,040	7,092,510
未払解約金	—	—	—	—	—	17,999,999
未払信託報酬	670,077	615,115	659,609	678,661	675,390	753,309
その他未払費用	20,928	19,213	20,603	21,199	21,096	23,529
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,097,708,952</b>	<b>1,123,280,146</b>	<b>1,133,268,623</b>	<b>1,179,239,036</b>	<b>1,182,016,219</b>	<b>1,171,972,289</b>
元本	1,341,196,762	1,355,897,994	1,392,320,354	1,462,184,742	1,463,418,397	1,447,451,196
次期繰越損益金	△ 243,487,810	△ 232,617,848	△ 259,051,731	△ 282,945,706	△ 281,402,178	△ 275,478,907
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,341,196,762口</b>	<b>1,355,897,994口</b>	<b>1,392,320,354口</b>	<b>1,462,184,742口</b>	<b>1,463,418,397口</b>	<b>1,447,451,196口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	8,185円	8,284円	8,139円	8,065円	8,077円	8,097円

<注記事項>

期首元本額	1,353,366,654円	1,341,196,762円	1,355,897,994円	1,392,320,354円	1,462,184,742円	1,463,418,397円
期中追加設定元本額	0円	24,372,411円	60,737,017円	71,220,404円	1,233,655円	12,309,208円
期中一部解約元本額	12,169,892円	9,671,179円	24,314,657円	1,356,016円	0円	28,276,409円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受託者報酬	31,407円	28,833円	30,917円	31,812円	31,658円	35,311円
未払委託者報酬	638,670円	586,282円	628,692円	646,849円	643,732円	717,998円

## ○損益の状況

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年5月10日～ 2019年6月10日	2019年6月11日～ 2019年7月9日	2019年7月10日～ 2019年8月9日	2019年8月10日～ 2019年9月9日	2019年9月10日～ 2019年10月9日	2019年10月10日～ 2019年11月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 1,354,795	19,816,069	△ 12,635,760	△ 3,646,199	8,912,709	10,665,365
売買益	12,628,989	50,762,973	28,987,909	11,329,115	32,630,659	43,024,654
売買損	△ 13,983,784	△ 30,946,904	△ 41,623,669	△ 14,975,314	△ 23,717,950	△ 32,359,289
(B) 信託報酬等	△ 691,005	△ 634,328	△ 691,012	△ 699,860	△ 696,486	△ 776,838
(C) 当期損益金(A+B)	△ 2,045,800	19,181,741	△ 13,326,772	△ 4,346,059	8,216,223	9,888,527
(D) 前期繰越損益金	△189,045,843	△194,993,169	△178,147,899	△196,820,837	△206,895,735	△200,608,465
(E) 追加信託差損益金	△ 46,226,662	△ 51,111,649	△ 61,033,155	△ 75,198,979	△ 76,283,626	△ 77,666,459
(配当等相当額)	( 45,372,797)	( 44,983,405)	( 46,074,170)	( 47,472,350)	( 46,874,058)	( 45,788,800)
(売買損益相当額)	(△ 91,599,459)	(△ 96,095,054)	(△107,107,325)	(△122,671,329)	(△123,157,684)	(△123,455,259)
(F) 計(C+D+E)	△237,318,305	△226,923,077	△252,507,826	△276,365,875	△274,963,138	△268,386,397
(G) 収益分配金	△ 6,169,505	△ 5,694,771	△ 6,543,905	△ 6,579,831	△ 6,439,040	△ 7,092,510
次期繰越損益金(F+G)	△243,487,810	△232,617,848	△259,051,731	△282,945,706	△281,402,178	△275,478,907
追加信託差損益金	△ 47,103,805	△ 51,289,272	△ 62,041,195	△ 76,049,971	△ 76,867,529	△ 78,199,121
(配当等相当額)	( 44,495,654)	( 44,868,856)	( 45,204,048)	( 46,834,541)	( 46,293,896)	( 45,296,270)
(売買損益相当額)	(△ 91,599,459)	(△ 96,158,128)	(△107,245,243)	(△122,884,512)	(△123,161,425)	(△123,495,391)
分配準備積立金	2,743	2,605	2,430	1,703	3,061	2,606
繰越損益金	△196,386,748	△181,331,181	△197,012,966	△206,897,438	△204,537,710	△197,282,392

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第90期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,293,593円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(45,372,797円)および分配準備積立金(1,512円)より分配対象収益は50,667,902円(10,000口当たり377円)であり、うち6,169,505円(10,000口当たり46円)を分配金額としております。

(注) 第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,517,030円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(45,046,479円)および分配準備積立金(2,723円)より分配対象収益は50,566,232円(10,000口当たり372円)であり、うち5,694,771円(10,000口当たり42円)を分配金額としております。

(注) 第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,535,736円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46,212,088円)および分配準備積立金(2,569円)より分配対象収益は51,750,383円(10,000口当たり371円)であり、うち6,543,905円(10,000口当たり47円)を分配金額としております。

(注) 第93期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,728,115円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(47,685,533円)および分配準備積立金(2,427円)より分配対象収益は53,416,075円(10,000口当たり365円)であり、うち6,579,831円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

(注) 第94期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,856,495円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(46,877,799円)および分配準備積立金(1,703円)より分配対象収益は52,735,997円(10,000口当たり360円)であり、うち6,439,040円(10,000口当たり44円)を分配金額としております。

(注) 第95期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,559,452円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(45,828,932円)および分配準備積立金(3,002円)より分配対象収益は52,391,386円(10,000口当たり361円)であり、うち7,092,510円(10,000口当たり49円)を分配金額としております。

(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
受託者報酬	31,407円	28,833円	30,917円	31,812円	31,658円	35,311円
委託者報酬	638,670円	586,282円	628,692円	646,849円	643,732円	717,998円

## ○分配金のお知らせ

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
1万円当たり分配金(税込み)	46円	42円	47円	45円	44円	49円

# アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 運用報告書(全体版)

第90期(決算日:2019年6月10日) 第93期(決算日:2019年9月9日)  
第91期(決算日:2019年7月9日) 第94期(決算日:2019年10月9日)  
第92期(決算日:2019年8月9日) 第95期(決算日:2019年11月11日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る11月11日に第95期の決算を行いました。  
当ファンドはアジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。当作成期につきましてそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じ、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アジア諸国 <sup>※1</sup> の高利回り社債 <sup>※2</sup> および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。 <small>※1 アジア諸国とは、運用要件がそれぞれ該当すると判断する国(日本を除きます。)をいいます。 ※2 高利回り社債とは、当該社債の格付けが、BB+格(S&amp;P社による格付け)またはBa1格(ムーディーズ社による格付け)以下のものをいいます。</small>
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への実質投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンド	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象として運用を行います。米ドル建ての債券に主として投資します。また、建値がアジア諸国の現地通貨である債券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%を上限とします。株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(原則毎月9日)に基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント

ホームページアドレス <https://www.jpmorganasset.co.jp/>

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング



○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 配 金	期 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
66期(2017年6月9日)	13,072	66	△2.4	95.7	—	26,215	
67期(2017年7月10日)	13,449	64	3.4	91.8	—	29,234	
68期(2017年8月9日)	13,000	58	△2.9	91.8	—	31,317	
69期(2017年9月11日)	12,852	67	△0.6	94.6	—	32,428	
70期(2017年10月10日)	13,388	59	4.6	97.3	—	34,824	
71期(2017年11月9日)	13,532	62	1.5	95.7	—	36,620	
72期(2017年12月11日)	13,368	64	△0.7	95.9	—	37,201	
73期(2018年1月9日)	13,310	59	0.0	95.5	—	37,233	
74期(2018年2月9日)	12,664	59	△4.4	97.3	—	34,438	
75期(2018年3月9日)	12,329	58	△2.2	93.8	—	32,940	
76期(2018年4月9日)	12,241	64	△0.2	96.4	—	31,686	
77期(2018年5月9日)	12,194	64	0.1	96.0	—	30,247	
78期(2018年6月11日)	12,095	70	△0.2	95.5	—	29,011	
79期(2018年7月9日)	11,788	63	△2.0	94.9	—	26,414	
80期(2018年8月9日)	12,156	69	3.7	95.6	—	25,816	
81期(2018年9月10日)	12,068	72	△0.1	94.9	—	23,887	
82期(2018年10月9日)	12,357	65	2.9	96.1	—	22,596	
83期(2018年11月9日)	12,144	72	△1.1	94.8	—	20,448	
84期(2018年12月10日)	11,947	72	△1.0	94.2	—	18,971	
85期(2019年1月9日)	11,562	65	△2.7	96.1	—	16,997	
86期(2019年2月12日)	12,069	73	5.0	92.6	—	17,163	
87期(2019年3月11日)	12,244	62	2.0	96.5	—	15,786	
88期(2019年4月9日)	12,462	66	2.3	95.4	—	15,251	
89期(2019年5月9日)	12,311	67	△0.7	92.0	—	14,446	
90期(2019年6月10日)	12,082	69	△1.3	93.2	—	13,963	
91期(2019年7月9日)	12,302	62	2.3	94.9	—	14,017	
92期(2019年8月9日)	11,795	69	△3.6	91.4	—	13,332	
93期(2019年9月9日)	11,814	64	0.7	92.3	—	13,344	
94期(2019年10月9日)	11,877	64	1.1	94.4	—	12,994	
95期(2019年11月11日)	12,160	72	3.0	94.1	—	13,083	

(注)基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注)当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注)債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	騰 落 率		
第90期	(期 首) 2019年5月9日	円 12,311	% —	% —	% 92.0	% —
	5月末	12,224	△0.7		91.4	—
	(期 末) 2019年6月10日	12,151	△1.3		93.2	—
第91期	(期 首) 2019年6月10日	12,082	—		93.2	—
	6月末	12,170	0.7		94.7	—
	(期 末) 2019年7月9日	12,364	2.3		94.9	—
第92期	(期 首) 2019年7月9日	12,302	—		94.9	—
	7月末	12,248	△0.4		92.2	—
	(期 末) 2019年8月9日	11,864	△3.6		91.4	—
第93期	(期 首) 2019年8月9日	11,795	—		91.4	—
	8月末	11,830	0.3		92.2	—
	(期 末) 2019年9月9日	11,878	0.7		92.3	—
第94期	(期 首) 2019年9月9日	11,814	—		92.3	—
	9月末	12,008	1.6		94.1	—
	(期 末) 2019年10月9日	11,941	1.1		94.4	—
第95期	(期 首) 2019年10月9日	11,877	—		94.4	—
	10月末	12,179	2.5		94.4	—
	(期 末) 2019年11月11日	12,232	3.0		94.1	—

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

## 投資環境

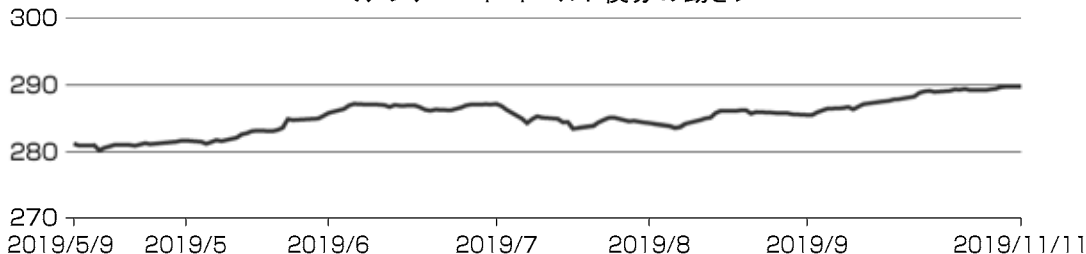
### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆作成期首から7月にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)が金融緩和に前向きな姿勢を見せたことやECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が追加緩和の可能性に言及したことなどを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね上昇基調で推移しました。また、米国が対中追加関税を先送りし、貿易協議の再開で合意したほか、中国の通信機器最大手への制裁を一部緩和したことなども支援材料となりました。
- ◆8月は、トランプ米政権が中国に対する制裁関税の第4弾の発動を表明し、中国が米国に対し報復措置を発表するなど米中貿易摩擦が深刻化したことを受けて軟調に推移しました。
- ◆9月以降は、米中貿易協議に進展が見られたことや、FRBが利下げを決定したことなどが支援材料となり、アジア・ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。
- ◆当作成期中は、景気下支えのため、中国やインドネシア、フィリピン、インド、韓国など多くの国で利下げが発表されました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

＜アジア・ハイ・イールド債券の動き＞



(出所)ブルームバーグ  
・J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)

### ◎為替市況

為替市場では、米ドルが対円で小幅下落しました。

- ◆前半は、軟調な米雇用統計を受けた米長期金利の低下や米中貿易摩擦の深刻化への懸念などを背景に米ドルは対円で下落しました。
- ◆後半は、米中貿易協議での進展に加え、一部の米経済指標が堅調だったことや英国のEU(欧州連合)からの離脱に楽観的な見方が広がったことを受けて米ドルは対円で上昇しました。

＜米ドル・円相場の推移＞



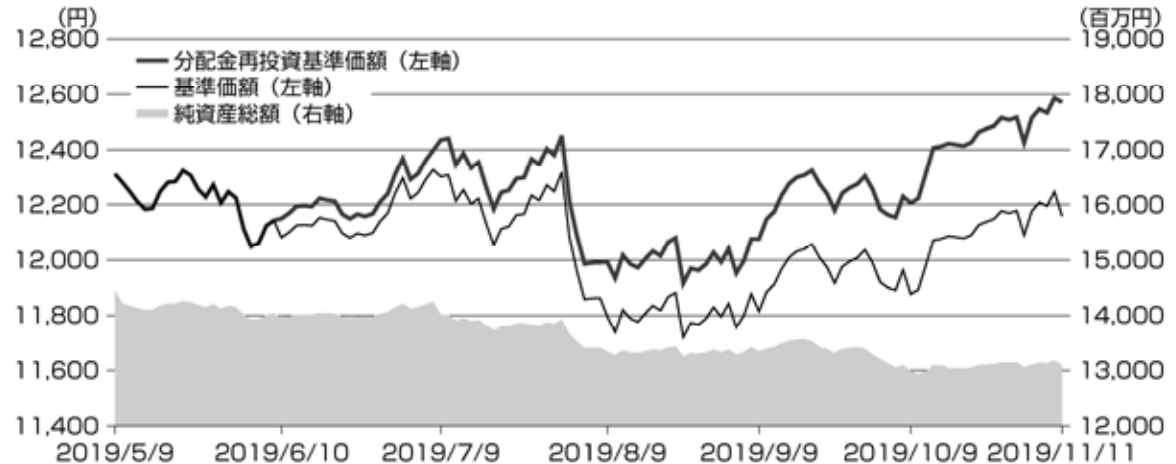
(出所) 投信協会発表レート

## 運用経過の説明

### ◎基準価額等の推移

○当ファンド:基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は+2.1%となりました。

○組入ファンド:マザーファンドの基準価額の騰落率は+2.5%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

### ◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、米ドルが対円で下落したことなどはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇や保有債券からの利金収入などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

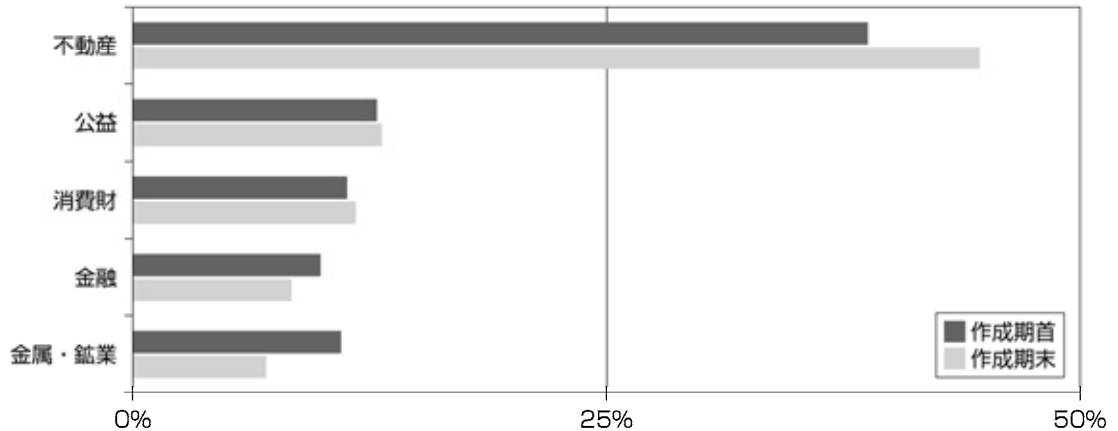
○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。作成期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

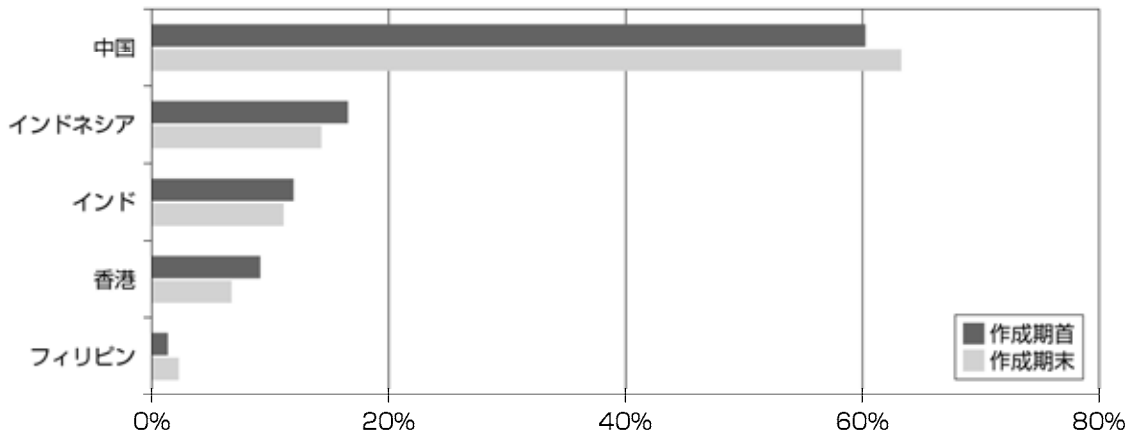
<上位業種別比率の推移(マザーファンド)>



・組入価証券を100%として計算しています。

・業種別比率はJ.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) の分類に基づいていますが、当社の判断により分類したものが一部含まれます。

<上位国別比率の推移(マザーファンド)>



・組入価証券を100%として計算しています。

## ◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は当作成期合計で400円(税込)としました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆今後の世界経済の見通しについては、緩やかな成長が続くと予想しており、当面は景気後退に陥る可能性は低いと見ている一方、経済指標が大きく改善する見込みは低いと考えます。
- ◆今後、市場環境が好転すれば年末にかけて米国国債とアジア・ハイ・イールド債との利回り格差は縮小する可能性があると考えます。また、アジア・ハイ・イールド債の発行体のファンダメンタルズ(基礎的条件)については大きな変化はないと見えています。
- ◆2019年前半に債務水準は若干上昇しましたが、企業収益は2019年を通して増加傾向を維持できると予想しているほか、2019年のデフォルト(債務不履行)率は2018年と同水準になると見えています。
- ◆バリュエーション(価格評価)については適正水準に近いと判断しており、価格が下落した場合には投資の機会として捉えていきたいと考えています。

### ◎今後の運用方針

#### ○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

#### ○マザーファンド

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2019年5月10日～2019年11月11日)

項 目	第90期～第95期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.358	(a) 信託報酬 = [ 当作成期中の平均基準価額 ] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(41)	(0.335)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 販 売 会 社 )	( 1 )	(0.006)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.017)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.018	(b) その他費用 = $\frac{[ 当作成期中のその他費用 ]}{[ 当作成期中の平均受益権口数 ]}$
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
( 監 査 費 用 )	( 1 )	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	45	0.376	
当作成期中の平均基準価額は、12,109円です。			

(注) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第90期～第95期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券	千口 1,274	千円 3,000	千口 725,529	千円 1,683,025

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年11月11日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第89期末		第95期末		
		口	数	口	数	評 価 額
		千口		千口		千円
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		6,251,299		5,527,045		13,169,843

(注)口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

○投資信託財産の構成

(2019年11月11日現在)

項	目	第95期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド受益証券		13,169,843	100.0
投資信託財産総額		13,169,843	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。

(注)アジア・ハイ・イールド債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(14,394,663千円)の投資信託財産総額(14,417,938千円)に対する比率は99.8%です。

(注)外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.16円です。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2019年6月10日現在	2019年7月9日現在	2019年8月9日現在	2019年9月9日現在	2019年10月9日現在	2019年11月11日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>14,051,621,634</b>	<b>14,296,266,116</b>	<b>13,419,254,735</b>	<b>13,425,138,146</b>	<b>13,112,227,856</b>	<b>13,169,843,121</b>
アジア・ハイ・イールド債券マ ザーファンド受益証券(評価額)	14,051,621,634	14,096,266,116	13,419,254,735	13,425,138,146	13,072,227,857	13,169,843,121
未収入金	—	200,000,000	—	—	39,999,999	—
<b>(B) 負債</b>	<b>88,556,006</b>	<b>278,583,171</b>	<b>86,322,655</b>	<b>80,351,221</b>	<b>117,879,317</b>	<b>86,027,705</b>
未払収益分配金	79,739,675	70,644,220	77,996,985	72,290,929	70,023,443	77,471,195
未払解約金	—	200,000,000	—	—	39,999,999	—
未払信託報酬	8,549,179	7,698,386	8,073,388	7,816,048	7,617,827	8,297,233
その他未払費用	267,152	240,565	252,282	244,244	238,048	259,277
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>13,963,065,628</b>	<b>14,017,682,945</b>	<b>13,332,932,080</b>	<b>13,344,786,925</b>	<b>12,994,348,539</b>	<b>13,083,815,416</b>
元本	11,556,474,652	11,394,229,174	11,303,910,887	11,295,457,802	10,941,162,974	10,759,888,268
次期繰越損益金	2,406,590,976	2,623,453,771	2,029,021,193	2,049,329,123	2,053,185,565	2,323,927,148
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>11,556,474,652口</b>	<b>11,394,229,174口</b>	<b>11,303,910,887口</b>	<b>11,295,457,802口</b>	<b>10,941,162,974口</b>	<b>10,759,888,268口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	12,082円	12,302円	11,795円	11,814円	11,877円	12,160円

<注記事項>

期首元本額	11,735,440,815円	11,556,474,652円	11,394,229,174円	11,303,910,887円	11,295,457,802円	10,941,162,974円
期中追加設定元本額	0円	0円	0円	0円	0円	2,482,006円
期中一部解約元本額	178,966,163円	162,245,478円	90,318,287円	8,453,085円	354,294,828円	183,756,712円
各期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。						
未払受益者報酬	400,745円	360,859円	378,439円	366,378円	357,086円	388,932円
未払委託者報酬	8,148,434円	7,337,527円	7,694,949円	7,449,670円	7,260,741円	7,908,301円

○損益の状況

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2019年5月10日～ 2019年6月10日	2019年6月11日～ 2019年7月9日	2019年7月10日～ 2019年8月9日	2019年8月10日～ 2019年9月9日	2019年9月10日～ 2019年10月9日	2019年10月10日～ 2019年11月11日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 174,999,189	329,233,492	△ 487,315,246	102,176,493	146,015,565	390,734,964
売買益	308,374	333,200,488	1,079,351	102,206,065	151,440,923	392,492,138
売買損	△ 175,307,563	△ 3,966,996	△ 488,394,597	△ 29,572	△ 5,425,358	△ 1,757,174
(B) 信託報酬等	△ 8,816,331	△ 7,938,951	△ 8,325,670	△ 8,060,292	△ 7,855,875	△ 8,556,510
(C) 当期損益金(A+B)	△ 183,815,520	321,294,541	△ 495,640,916	94,116,201	138,159,690	382,178,454
(D) 前期繰越損益金	△1,347,505,139	△1,588,441,723	△1,327,187,464	△1,899,403,890	△1,818,685,987	△1,721,150,255
(E) 追加信託差損益金	4,017,651,310	3,961,245,173	3,929,846,558	3,926,907,741	3,803,735,305	3,740,370,144
(配当等相当額)	( 5,494,966,608)	( 5,417,819,585)	( 5,374,875,505)	( 5,370,856,066)	( 5,202,392,361)	( 5,116,240,546)
(売買損益相当額)	(△1,477,315,298)	(△1,456,574,412)	(△1,445,028,947)	(△1,443,948,325)	(△1,398,657,056)	(△1,375,870,402)
(F) 計(C+D+E)	2,486,330,651	2,694,097,991	2,107,018,178	2,121,620,052	2,123,209,008	2,401,398,343
(G) 収益分配金	△ 79,739,675	△ 70,644,220	△ 77,996,985	△ 72,290,929	△ 70,023,443	△ 77,471,195
次期繰越損益金(F+G)	2,406,590,976	2,623,453,771	2,029,021,193	2,049,329,123	2,053,185,565	2,323,927,148
追加信託差損益金	4,017,651,310	3,961,245,173	3,929,846,558	3,926,907,741	3,803,735,305	3,740,370,144
(配当等相当額)	( 5,494,966,608)	( 5,417,819,585)	( 5,374,875,505)	( 5,370,856,066)	( 5,202,392,361)	( 5,116,252,418)
(売買損益相当額)	(△1,477,315,298)	(△1,456,574,412)	(△1,445,028,947)	(△1,443,948,325)	(△1,398,657,056)	(△1,375,882,274)
分配準備積立金	222,572,338	217,922,961	205,558,575	199,537,337	189,431,681	184,086,386
繰越損益金	△1,833,632,672	△1,555,714,363	△2,106,383,940	△2,077,115,955	△1,939,981,421	△1,600,529,382

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 第90期計算期間末における費用控除後の配当等収益(68,610,117円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,494,966,608円)および分配準備積立金(233,701,896円)より分配対象収益は5,797,278,621円(10,000口当たり5,016円)であり、うち79,739,675円(10,000口当たり769円)を分配金額としております。  
(注) 第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益(69,119,665円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,417,819,585円)および分配準備積立金(219,447,516円)より分配対象収益は5,706,386,766円(10,000口当たり5,008円)であり、うち70,644,220円(10,000口当たり702円)を分配金額としております。  
(注) 第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益(67,359,955円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,374,875,505円)および分配準備積立金(216,195,605円)より分配対象収益は5,658,431,065円(10,000口当たり5,005円)であり、うち77,996,985円(10,000口当たり769円)を分配金額としております。  
(注) 第93期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,423,412円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,370,856,066円)および分配準備積立金(205,404,854円)より分配対象収益は5,642,684,332円(10,000口当たり4,995円)であり、うち72,290,929円(10,000口当たり724円)を分配金額としております。  
(注) 第94期計算期間末における費用控除後の配当等収益(66,176,529円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,202,392,361円)および分配準備積立金(193,278,595円)より分配対象収益は5,461,847,485円(10,000口当たり4,992円)であり、うち70,023,443円(10,000口当たり700円)を分配金額としております。  
(注) 第95期計算期間末における費用控除後の配当等収益(75,307,297円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,116,252,418円)および分配準備積立金(186,250,284円)より分配対象収益は5,377,809,999円(10,000口当たり4,998円)であり、うち77,471,195円(10,000口当たり772円)を分配金額としております。  
(注) 各期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
受託者報酬	400,745円	360,859円	378,439円	366,378円	357,086円	388,932円
委託者報酬	8,148,434円	7,337,527円	7,694,949円	7,449,670円	7,260,741円	7,908,301円

○分配金のお知らせ

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
1万円当たり分配金(税込み)	69円	62円	69円	64円	64円	72円

# GIMアジア・ハイ・イールド 債券マザーファンド (適格機関投資家専用)

## 第 16 期 運用報告書

(決算日: 2019年11月11日)  
(計算期間: 2019年5月10日～2019年11月11日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第16期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
運 用 方 針	安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつこの投資信託にかかる信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の30%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(注)当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注)「GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」は「アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
12期(2017年11月9日)	22,968		3.8	95.2	—	39,001
13期(2018年5月9日)	21,379		△6.9	95.5	—	32,144
14期(2018年11月9日)	22,104		3.4	94.2	—	21,872
15期(2019年5月9日)	23,250		5.2	91.5	—	15,645
16期(2019年11月11日)	23,828		2.5	93.5	—	14,377

(注)債券先物比率は買建比率—売建比率です。

(注)当ファンドの投資対象市場の値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマーク・参考ベンチマークは記載しておりません(以下同)。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2019年5月9日	23,250		—	91.5	—	—
5月末	23,096		△0.7	91.3	—	—
6月末	23,138		△0.5	94.6	—	—
7月末	23,419		0.7	92.1	—	—
8月末	22,765		△2.1	92.1	—	—
9月末	23,248		△0.0	94.0	—	—
10月末	23,720		2.0	94.3	—	—
(期 末)						
2019年11月11日	23,828		2.5	93.5	—	—

(注)騰落率は期首比です。

(注)債券先物比率は買建比率—売建比率です。

## 投資環境

### ◎アジア・ハイ・イールド債券市場

アジア・ハイ・イールド債券市場は上昇しました。

- ◆期首から7月にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)が金融緩和に前向きな姿勢を見せたことやECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が追加緩和の可能性に言及したことなどを背景に、アジア・ハイ・イールド債券市場は概ね上昇基調で推移しました。また、米国が対中追加関税を先送りし、貿易協議の再開で合意したほか、中国の通信機器最大手への制裁を一部緩和したことなども支援材料となりました。
- ◆8月は、トランプ米政権が中国に対する制裁関税の第4弾の発動を表明し、中国が米国に対し報復措置を発表するなど米中貿易摩擦が深刻化したことを受けて軟調に推移しました。
- ◆9月以降は、米中貿易協議に進展が見られたことや、FRBが利下げを決定したことなどが支援材料となり、アジア・ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。
- ◆当期中は、景気下支えのため、中国やインドネシア、フィリピン、インド、韓国など多くの国で利下げが発表されました。

\* 市場の動向は、J.P. Morgan Asia Credit Index (JACI) Non-Investment Grade Corporate(米ドルベース)を使用しています。同指数はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

### ◎為替市況

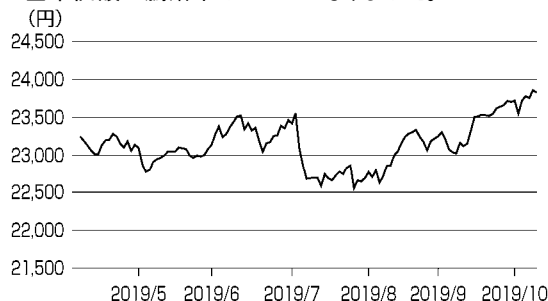
為替市場では、米ドルが対円で小幅下落しました。

- ◆前半は、軟調な米雇用統計を受けた米長期金利の低下や米中貿易摩擦の深刻化への懸念などを背景に米ドルは対円で下落しました。
- ◆後半は、米中貿易協議での進展に加え、一部の米経済指標が堅調だったことや英国のEU(欧州連合)からの離脱に楽観的な見方が広がったことを受けて米ドルは対円で上昇しました。

## 運用経過の説明

### ◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+2.5%となりました。



### ◎基準価額の主な変動要因

米ドルが対円で下落したことなどはマイナスに寄与したものの、保有債券の価格上昇や保有債券からの利金収入などがプラスに寄与し、基準価額を押し上げました。

### ◎ポートフォリオについて

様々な業種への分散投資を図りながら運用を行いました。期を通じて、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高めに維持しました。

## 今後の見通しと運用方針

### ◎今後の見通し

- ◆今後の世界経済の見通しについては、緩やかな成長が続くと予想しており、当面は景気後退に陥る可能性は低いと見ている一方、経済指標が大きく改善する見込みは低いと考えます。
- ◆今後、市場環境が好転すれば年末にかけて米国国債とアジア・ハイ・イールド債との利回り格差は縮小する可能性があると考えます。また、アジア・ハイ・イールド債の発行体のファンダメンタルズ(基礎的条件)については大きな変化はないと見えています。
- ◆2019年前半に債務水準は若干上昇しましたが、企業収益は2019年を通して増加傾向を維持できると予想しているほか、2019年のデフォルト(債務不履行)率は2018年と同水準になると見えています。
- ◆バリュエーション(価格評価)については適正水準に近いと判断しており、価格が下落した場合には投資の機会として捉えていきたいと考えています。

### ◎今後の運用方針

アジア各国(日本を除く)の企業が発行する高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### ○1万口当たりの費用明細

(2019年5月10日～2019年11月11日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	2	0.007
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.007)
( そ の 他 )	(0)	(0.000)
合 計	2	0.007
期中の平均基準価額は、23,231円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

## 公社債

		買付額		売付額	
		千米ドル		千米ドル	
外国	アメリカ	国債証券	1,531		394
		特殊債券	1,514		3,007
		社債券	42,806		42,152 (7,198)

(注)金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。

(注)社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注)下段に( )がある場合は一部償還金または利金の額面への追加・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年5月10日～2019年11月11日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2019年11月11日現在)

下記は、アジア・ハイ・イールド債券マザーファンド全体(6,033,991千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当 期		末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千米ドル 125,500	千米ドル 123,120	千円 13,439,860	93.5	93.5	24.2	43.8	25.4
合 計	125,500	123,120	13,439,860	93.5	93.5	24.2	43.8	25.4

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。

(注)評価については金融商品取引業者、価格情報会社よりデータを入手しています。

(注)債券の格付については、原則としてS&PまたはMoody'sが提供する格付を使用し、仕組み債等、格付の提供がなされていないものについては、委託会社による判断を基にしております。  
なお、上記の格付機関が異なる格付を提供している場合は、低い方を採用しております。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当期末					償還年月日
		利率	額面金額	評価額		債	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券						
	SRILANKA6.35% JUN24 REGS	6.35	200	202	22,151	2024/6/28	
	SRILANKA6.85% MAR24 REGS	6.85	200	206	22,552	2024/3/14	
	SRILANKA7.85% MAR29 REGS	7.85	1,400	1,449	158,224	2029/3/14	
	特殊債券						
	(除く金融債)						
	CHINA CITIC BK VAR EMTN	7.1	200	216	23,636	2049/6/29	
	KUNMING TRAFFIC6.2% EMTN	6.2	1,300	1,318	143,904	2022/6/27	
	普通社債券						
	ABJA INVESTMENT 5.45%	5.45	2,600	2,498	272,698	2028/1/24	
	AGILE GRP HLDGS 9%	9.0	1,000	1,022	111,585	2020/5/21	
	AGILE GRP HLDGS VAR	6.875	1,400	1,387	151,419	2049/9/29	
	ALAM SYNERGY 6.625%	6.625	1,800	1,579	172,451	2022/4/24	
	AZURE POWER 5.5% REGS	5.5	2,600	2,627	286,855	2022/11/3	
	BAOXIN AUTO FIN VAR	8.75	2,400	2,238	244,302	2049/12/29	
	BAOXIN AUTO FIN VAR OCT	5.625	500	350	38,216	2049/10/29	
	BK EAST ASIA VAR EMTN	5.5	2,600	2,617	285,751	2049/12/31	
	CAR 6.125% REGS	6.125	1,700	1,682	183,710	2020/2/4	
	CENTRAL CHINA 7.325%	7.325	1,500	1,500	163,810	2020/1/27	
	CHAMPION VAR	8.125	400	420	45,948	2049/8/29	
	CHINA AOYUAN 5.375%	5.375	1,000	987	107,774	2022/9/13	
	CHINA AOYUAN 7.5%	7.5	1,200	1,235	134,815	2021/5/10	
	CHINA OIL&GAS 4.625%	4.625	1,600	1,607	175,492	2022/4/20	
	CHINA OIL&GAS 5.5%	5.5	600	613	66,915	2023/1/25	
	CHINA SCE PPT 7.45%	7.45	2,000	2,040	222,708	2021/4/17	
	CHONG HING BANK VAR EMTN	5.7	300	309	33,766	2049/7/29	
	CIFI HLDGS VAR	5.375	2,800	2,739	299,046	2049/12/29	
	CONCORD NEW ENERGY 7.9%	7.9	2,600	2,641	288,382	2021/1/23	
	EASY TACTIC 8.125%	8.125	1,600	1,588	173,400	2023/2/27	
	EASY TACTIC 8.125% 24	8.125	500	486	53,123	2024/7/11	
	ENN CLEAN ENERGY 7.5%	7.5	300	310	33,918	2021/2/27	
	EXPAND LEAD 6.4%	6.4	2,200	2,250	245,651	2021/9/18	
	FORTUNE STAR 5.95%	5.95	1,700	1,711	186,815	2023/1/29	
	FORTUNE STAR 6.75%	6.75	1,000	1,031	112,628	2023/7/2	
	FWD GRP VAR EMTN	—	2,800	2,277	248,598	2049/12/29	
	FWD VAR 49	5.5	3,000	2,870	313,381	2049/2/28	
	GCL NEW ENERGY 7.1%	7.1	2,400	2,146	234,355	2021/1/30	
	GEMDALE 4.95%	4.95	2,600	2,563	279,788	2022/7/26	
	GEMSTONES INTL 8.5%	8.5	2,800	2,742	299,348	2020/8/15	
	GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	4.625	2,500	2,452	267,725	2023/5/21	
	GOLDEN LEGACY6.875% REGS	6.875	1,200	1,211	132,270	2024/3/27	
	GOME ELECTRICAL 5%	5.0	1,500	1,470	160,547	2020/3/10	
	GREENKO 6.25% REGS	6.25	1,800	1,836	200,417	2023/2/21	
	GREENKO SOLAR 5.55% REGS	5.55	700	699	76,331	2025/1/29	
	GREENLAND GLB 6.75% EMTN	6.75	1,000	1,029	112,383	2022/6/25	
	GREENLAND HK 6%	6.0	1,000	1,008	110,079	2021/7/17	
	HOPSON DEVELOPMENT 7.5%	7.5	2,700	2,741	299,223	2022/6/27	

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円	
アメリカ	普通社債券					
	INDIKA ENERGY5.875% REGS	5.875	200	191	20,853	2024/11/9
	INDIKA ENERGY6.875% REGS	6.875	2,100	2,169	236,853	2022/4/10
	JUBILANT PHARMA 6%	6.0	200	207	22,623	2024/3/5
	LANDSEA GREEN 9.625%	9.625	2,600	2,561	279,564	2020/4/25
	LMIRT CAPITAL 7.25%	7.25	1,500	1,576	172,095	2024/6/19
	MAOYE INTL 13.25%	13.25	2,300	2,394	261,361	2020/9/27
	MEDCO PLATINUM6.75% REGS	6.75	2,500	2,521	275,211	2025/1/30
	MELCO RESORTS5.625% REGS	5.625	300	312	34,090	2027/7/17
	NEERG ENERGY 6% REGS	6.0	1,800	1,772	193,522	2022/2/13
	NEW METRO GLOBAL 6.5%	6.5	1,100	1,061	115,855	2022/5/20
	NEW METRO GLOBAL 6.75%	6.75	1,500	1,496	163,363	2020/1/26
	PETRON VAR	4.6	1,800	1,778	194,151	2049/1/29
	POSTAL SAVINGS VAR	4.5	1,300	1,302	142,140	2049/9/29
	POWERLONG 4.875%	4.875	1,100	1,063	116,045	2021/9/15
	POWERLONG 5.95%	5.95	1,000	1,000	109,187	2020/7/19
	POWERLONG 7.125%	7.125	500	499	54,520	2022/11/8
	PT ADARO 4.25% REGS	4.25	1,000	978	106,863	2024/10/31
	RED SUN 10.5%	10.5	400	376	41,109	2022/10/3
	RED SUN 11.5%	11.5	1,300	1,294	141,344	2021/3/4
	RED SUN 13.5%	13.5	200	205	22,381	2020/12/3
	RED SUN 9.95%	9.95	700	658	71,879	2022/4/11
	RENEW POWER 6.67% REGS	6.67	1,200	1,213	132,413	2024/3/12
	RKPF OVERSEAS 6.7%	6.7	600	619	67,651	2024/9/30
	RKPF OVERSEAS 7.875%	7.875	800	851	92,985	2023/2/1
	RONGXINGDA 8%	8.0	2,100	1,931	210,887	2022/4/24
	SCENERY JOURNEY 11%	11.0	1,500	1,531	167,193	2020/11/6
	SHUI ON DEV 6.25%	6.25	1,400	1,431	156,245	2021/11/28
	SINO OCEAN LD VAR	4.9	700	608	66,429	2049/9/29
	SMC GLOBAL POWER VAR 1	5.95	1,000	1,013	110,672	2049/5/29
	SOECHI CAPITAL8.375% REGS	8.375	3,000	2,568	280,355	2023/1/31
	SRI REJEKI 7.25% REGS	7.25	1,400	1,426	155,683	2025/1/16
	SSMS PLANTATION 7.75%	7.75	1,600	1,299	141,880	2023/1/23
	SUNAC CHINA 6.875%	6.875	300	302	33,044	2020/8/8
	SUNAC CHINA 7.25%	7.25	200	201	22,040	2022/6/14
	SUNAC CHINA 7.875%	7.875	300	306	33,505	2022/2/15
	SUNAC CHINA 8.35%	8.35	700	720	78,668	2023/4/19
	TATA STEEL/ABJA 5.95%	5.95	300	313	34,245	2024/7/31
	TBLA INTL 7%	7.0	2,100	2,081	227,257	2023/1/24
	TIANQI FINCO 3.75%	3.75	700	513	56,097	2022/11/28
	TIMES CHINA 7.625%	7.625	300	310	33,845	2022/2/21
	TIMES PROPERTY 5.75%	5.75	2,200	2,183	238,396	2022/4/26
	VEDANTA 6.125% REGS	6.125	400	362	39,602	2024/8/9
	VEDANTA 8% REGS	8.0	1,400	1,401	152,985	2023/4/23
	VEDANTA 8.25% REGS	8.25	700	726	79,279	2021/6/7
	WISDOM GLORY GRP VAR	5.25	2,000	2,000	218,333	2049/7/27



銘	柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	普通社債券					
	WOORI BANK VAR REGS	4.25	700	698	76,211	2049/4/29
	YANGO JUSTICE 10.25%	10.25	1,500	1,446	157,845	2022/3/18
	YANGO JUSTICE 9.5%	9.5	900	882	96,317	2021/4/3
	YANLORD LAND 6.8%	6.8	200	202	22,095	2024/2/27
	YUZHON PRPTY 6%	6.0	1,400	1,387	151,407	2022/1/25
	YUZHON PRPTY 6% 23	6.0	1,300	1,238	135,148	2023/10/25
合 計		—	—	—	13,439,860	—

(注)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。

(注)額面・評価額の単位未満は切捨てです。なお、表示単位未満の場合は小数で記載しております。

(注)株式、新株予約権証券及び株式の性質を有するオプション証券等は組入れていません。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,439,860	93.2
コール・ローン等、その他	978,078	6.8
投資信託財産総額	14,417,938	100.0

(注)評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注)当期末における外貨建純資産(14,394,663千円)の投資信託財産総額(14,417,938千円)に対する比率は99.8%です。

(注)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=109.16円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月11日現在)

## ○損益の状況 (2019年5月10日～2019年11月11日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,529,881,847
コール・ローン等	515,620,327
公社債(評価額)	13,439,860,742
未収入金	361,490,638
未収利息	196,241,349
前払費用	16,668,791
(B) 負債	152,075,781
未払金	134,075,782
未払解約金	17,999,999
(C) 純資産総額(A-B)	14,377,806,066
元本	6,033,991,057
次期繰越損益金	8,343,815,009
(D) 受益権総口数	6,033,991,057口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,828円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	486,784,821
受取利息	486,793,724
支払利息	△ 8,903
(B) 有価証券売買損益	△ 138,130,060
売買益	210,224,264
売買損	△ 348,354,324
(C) その他費用等	△ 1,082,911
(D) 当期損益金(A+B+C)	347,571,850
(E) 前期繰越損益金	8,915,944,953
(F) 追加信託差損益金	103,638,505
(G) 解約差損益金	△1,023,340,299
(H) 計(D+E+F+G)	8,343,815,009
次期繰越損益金(H)	8,343,815,009

<注記事項>

期首元本額	6,729,070,312円
期中追加設定元本額	80,283,143円
期中一部解約元本額	775,362,398円
元本の内訳	
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	5,527,045,124円
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	506,945,933円

(注)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注)損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注)損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <約款変更のお知らせ>

・2019年7月30日付で、運用の指図に係る権限を委託する者の名称変更に伴い、信託約款に当該名称の変更を行っています。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

## マネー・リクイディティ・マザーファンド

### 第9期 運用状況のご報告

決算日：2019年7月17日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期 中 騰 落 率				
	円		%	%	%	百万円
5期(2015年7月17日)	10,036		0.0	93.0	—	519
6期(2016年7月19日)	10,036		0.0	66.9	—	165
7期(2017年7月18日)	10,031		△0.0	89.5	—	167
8期(2018年7月17日)	10,025		△0.1	64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

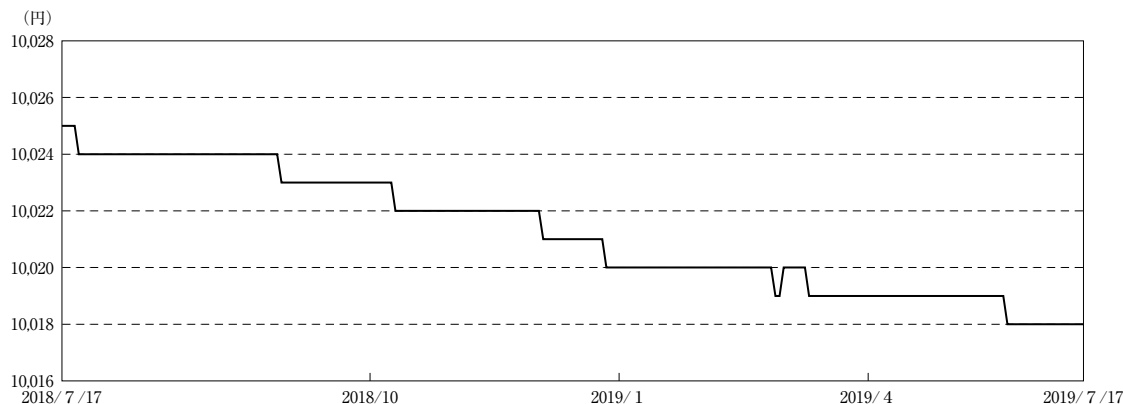
年 月 日	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率			
(期首)	円		%	%	%
2018年7月17日	10,025		—	64.8	—
7月末	10,024		△0.0	96.8	—
8月末	10,024		△0.0	96.7	—
9月末	10,024		△0.0	96.6	—
10月末	10,023		△0.0	64.3	—
11月末	10,022		△0.0	96.6	—
12月末	10,022		△0.0	64.5	—
2019年1月末	10,020		△0.0	96.8	—
2月末	10,020		△0.0	96.7	—
3月末	10,020		△0.0	96.4	—
4月末	10,019		△0.1	96.3	—
5月末	10,019		△0.1	96.2	—
6月末	10,018		△0.1	96.1	—
(期末)					
2019年7月17日	10,018		△0.1	68.7	—

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

## 期中の基準価額の推移

(2018年7月18日～2019年7月17日)



## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・特にありません。

## (主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。
- ・運用資金に対するマイナス金利の適用がマイナス要因となりました。

## 投資環境

(2018年7月18日～2019年7月17日)

短期金融市場では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続していることを受けて、期初から1年国債利回りがマイナス圏で推移する展開となりました。1年国債利回りは-0.1%台前半で推移した後、グローバル景気に対する先行き不透明感が強まったことから2018年9月下旬以降低下し、2019年2月には、黒田日銀総裁の追加金融緩和を容認する発言を受け-0.19%近辺となりました。その後、1年国債利回りは上下動を繰り返し、-0.18%近辺で期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年7月18日～2019年7月17日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年7月18日～2019年7月17日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## 今後の運用方針

## (投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

## (運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

## 〇1万口当たりの費用明細

(2018年7月18日～2019年7月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,021円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 〇売買及び取引の状況

(2018年7月18日～2019年7月17日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	特殊債券	151,929	10,047 (140,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年7月18日～2019年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年7月17日現在)

## 国内公社債

## (A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当			期			末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率				
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満		
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	千円 100,000 (100,000)	千円 100,460 (100,460)	% 68.7 (68.7)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 68.7 (68.7)	
合 計	100,000 (100,000)	100,460 (100,460)	68.7 (68.7)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	68.7 (68.7)	

(注) ( ) 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘	柄	当			期			末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日					
特殊債券（除く金融債）		%	千円	千円						
第91回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,181	2019/10/31					
第95回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券		1.2	50,000	50,278	2019/12/27					
合 計			100,000	100,460						

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年7月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 100,460	% 68.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	45,835	31.3
投 資 信 託 財 産 総 額	146,295	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	146,295,202 円
コール・ローン等	45,249,767
公社債(評価額)	100,460,527
未収利息	584,908
(B) 負債	148
未払利息	88
その他未払費用	60
(C) 純資産総額(A-B)	146,295,054
元本	146,031,004
次期繰越損益金	264,050
(D) 受益権総口数	146,031,004口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,018円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,0018円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は154,714,126円、期中追加設定元本額は1,296,918円、期中一部解約元本額は9,980,040円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	13,944,816円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジなし)	5,977,600円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	2,369,068円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	1,295,140円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	603,537円
アジア ハイ・イールド債券オープン (為替ヘッジあり)	502,340円

## ○損益の状況 (2018年7月18日～2019年7月17日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,859,063 円
受取利息	1,866,326
支払利息	△ 7,263
(B) 有価証券売買損益	△1,960,974
売買益	852
売買損	△1,961,826
(C) その他費用等	△ 546
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 102,457
(E) 前期繰越損益金	383,385
(F) 追加信託差損益金	3,082
(G) 解約差損益金	△ 19,960
(H) 計(D+E+F+G)	264,050
次期繰越損益金(H)	264,050

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

該当事項はございません。